（様式2） 実行計画管理シート

事業名	90	放課後児童対策事業	部・課	社会教育部　放課後子ども課

総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち
	施策目標等		15　子どもたちが健やかに育つことができるまち
	（関連施策目標等）		
	（関連施策目標等）		
	4つの重点的に進める施策との関係		2　安心して子どもを産み育て、健やかな成長と学びを支えるまちをつくる
総合戦略との関係	基本目標		2　安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える
	施策目標		2　子どもたちが健やかに育つことができるまち
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明	○	児童が放課後を安全・安心に過ごし、さまざまな活動ができるよう小学校と連携して放課後児童対策を拡充する。
	2016(H28)年度市政運営方針	○	留守家庭児童会室については、平成29年度からの対象学年の順次拡大に向けて、必要な施設整備を計画的に進める。併せて、放課後児童対策の拡充につながるよう、留守家庭児童会室に関する事務を教育委員会に移管し、学校との連携強化を図るとともに、効率的かつ効果的な事業の実施に向けて、民間活力の活用などの検討を進める。
	2017(H29)年度市政運営方針		
	2018(H30)年度市政運営方針		

事業概要 （目的・内容等）	児童が放課後を安全・安心に過ごし、さまざまな活動ができるよう取り組みを進める。 留守家庭児童会室の対象学年をH29年度から5年生、H30年度から6年生と段階的に拡大するため、入室児童数の増加に対応するために必要な施設整備を行う。　　概算総事業費：8.3億円 【拡充（平成28年度当初）】 土砂災害特別警戒区域に指定された香里留守家庭児童会室を建て替える。

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成29年度からの対象学年の順次拡大に向けて、平成27年度は、蹉跎・船橋留守家庭児童会室の建替え、香里留守家庭児童会室用借用教室の改修及び春日・蹉跎東・招提・西長尾留守家庭児童会室の男女別トイレの整備（招提は多目的トイレ含む）を行った。 なお、船橋留守家庭児童会室の建替え、招提・西長尾留守家庭児童会室の男女別トイレ整備については、平成27年度は工事着工のみ。招提・西長尾留守家庭児童会室は5月20日工事が完成した。船橋留守家庭児童会室も工事が完成し、9月12日より供用を開始した。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・対象学年の拡大に向けた児童会室の計画的な整備など 【拡充（平成28年度当初）】 ・香里留守家庭児童会室の実施設計、工事着手
	実績（評価）	平成28年度は、枚方及び津田南留守家庭児童会室の増築、香里及び殿山第一留守家庭児童会室の建替え、男女別トイレ18箇所（明倫、牧野、高陵、小倉、五常、交北、菅原、、中宮、山之上、樟葉西、樟葉南、中宮北、磯島、氷室、藤阪、平野、西牧野、長尾留守家庭児童会室、高陵と交北は多目的トイレ含む）の整備工事を行い、児童の安全性・快適性を確保した。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進 【拡充（平成28年度当初）】 ・香里留守家庭児童会室の工事完了、供用開始
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	―
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	—
	実績（評価）	
備考		

課題	留守家庭児童会室の運営に必要な施設については、平成26年度に策定した施設整備計画において、小学校の余裕教室の活用を最優先に検討を行うこととしており、施設整備に取り組む一方で、余裕教室の借用について各小学校と協議、調整を行っているが、一部の小学校では、余裕教室が不足しているため、児童会室の保育スペースの確保に苦慮している。また、児童会室を運営する職員も不足しているため、職員の確保も当面の課題である。		
今後の対応	引き続き、平成26年度に策定した施設整備計画に基づき、子ども・子育て支援新制度による保育の量的拡充と質の向上に向けた施設整備を行う。また、建築後、年数の経過している留守家庭児童会室の建替えについても順次行っていく。 また、留守家庭児童会室と全児童を対象とした放課後対策の一体的な推進に向けた検討を進める中で、留守家庭児童会室の実施手法の見直しについても、検討していく。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
留守家庭児童会室待機児童数	○	0	0	0				0	人
指標の説明		指標の実績（評価）							
留守家庭児童会入室の待機児童数		1月末日までの入室申込者については、臨時定員を設定し100%の受入れができている。							

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明		指標の実績（評価）							

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明		指標の実績（評価）							

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明		指標の実績（評価）							

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	1,297,387	289,095	186,753	170,200	271,677	0	379,662
2017(H29)年度	0	0	0	0	0	0	0
2018(H30)年度	0	0	0	0	0	0	0
2019(H31)年度	0	0	0	0	0	0	0

整備事業の場合の総事業費 458,690 千円 （建設経費 458,690 千円 ， 用地費 0 千円 ）